

松江城講座 松江市内の社寺建築と松江藩御作事所 配布資料

独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 大林 潤

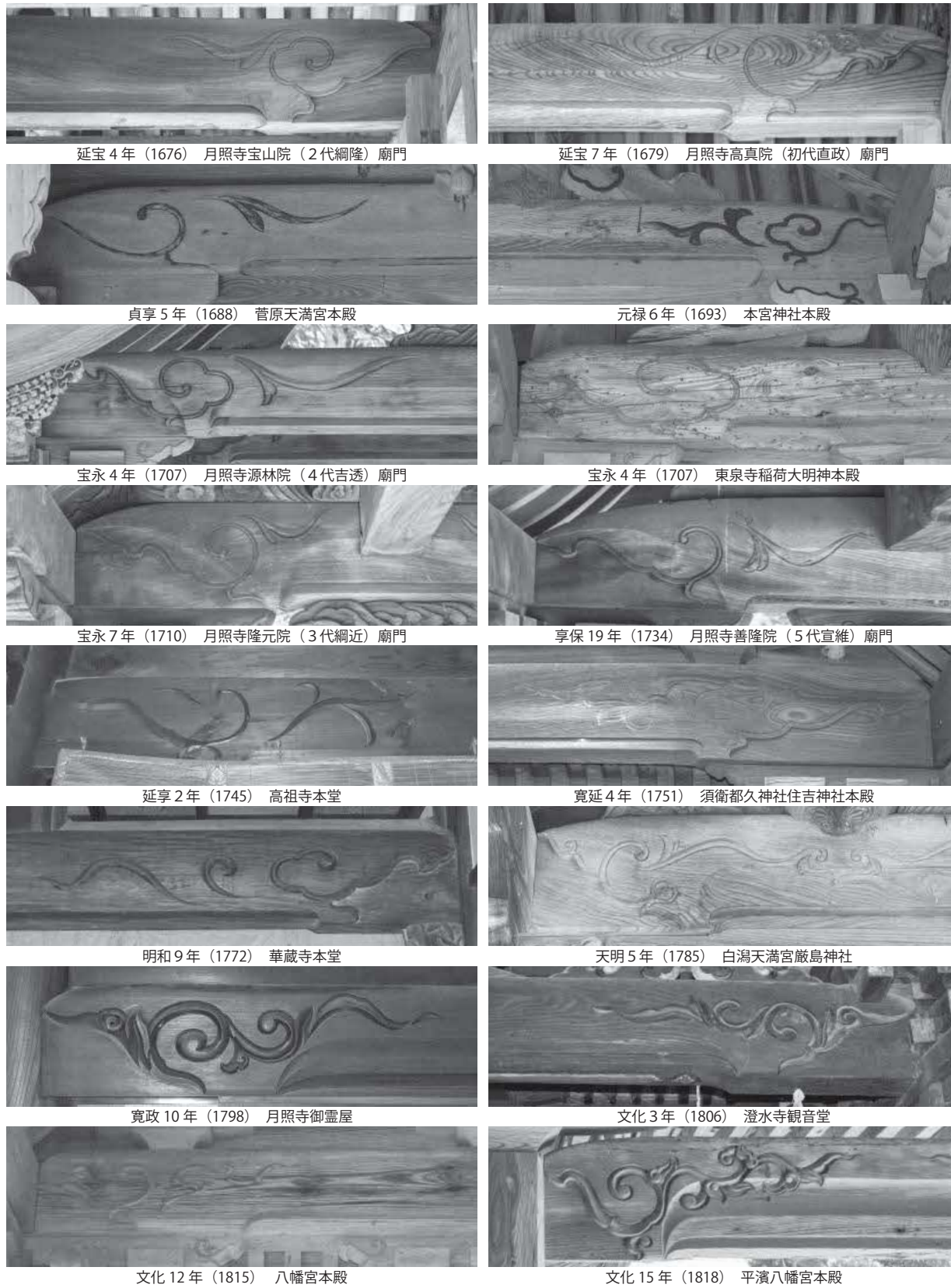


図1 虹梁絵様の変遷1

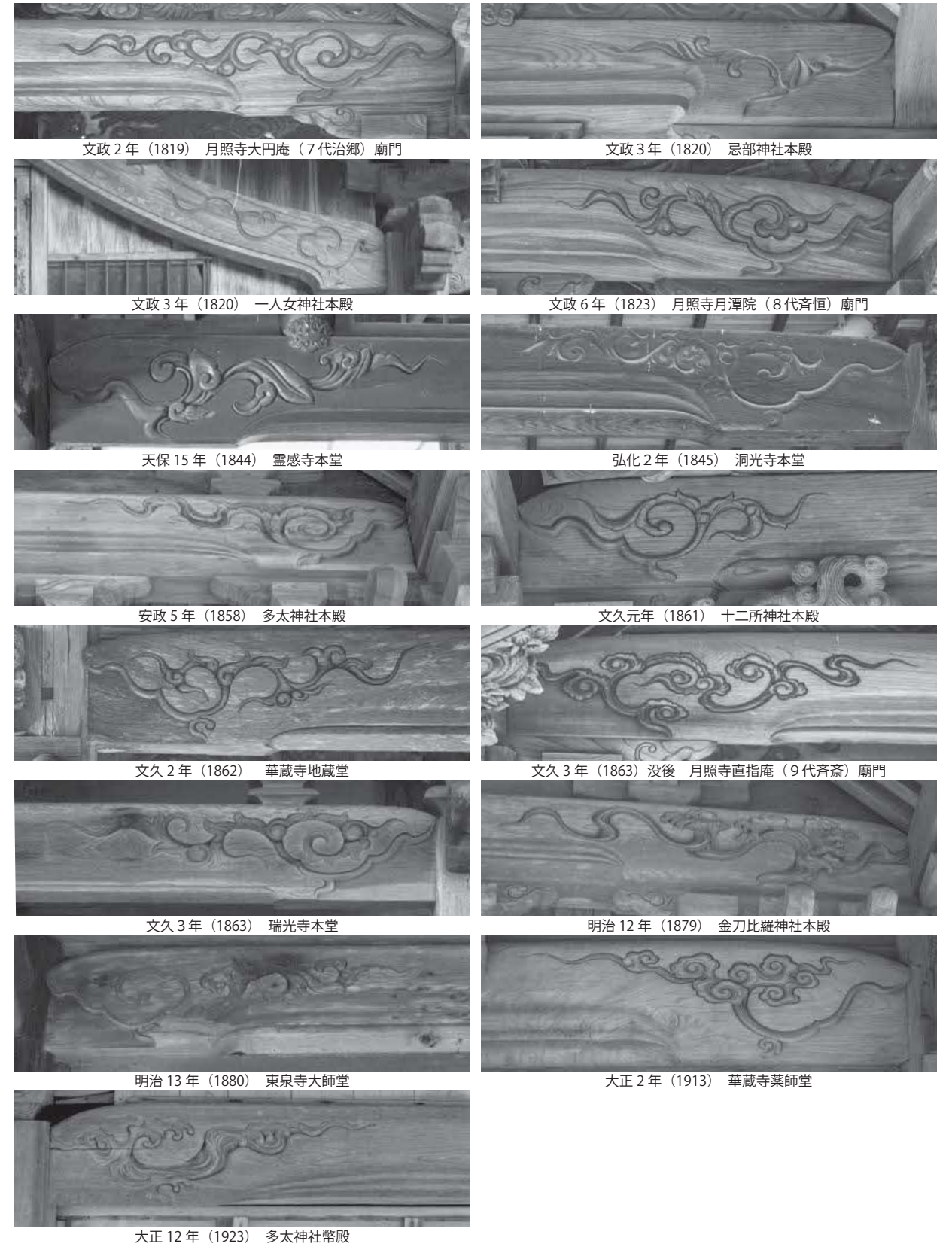


図2 虹梁絵様の変遷2

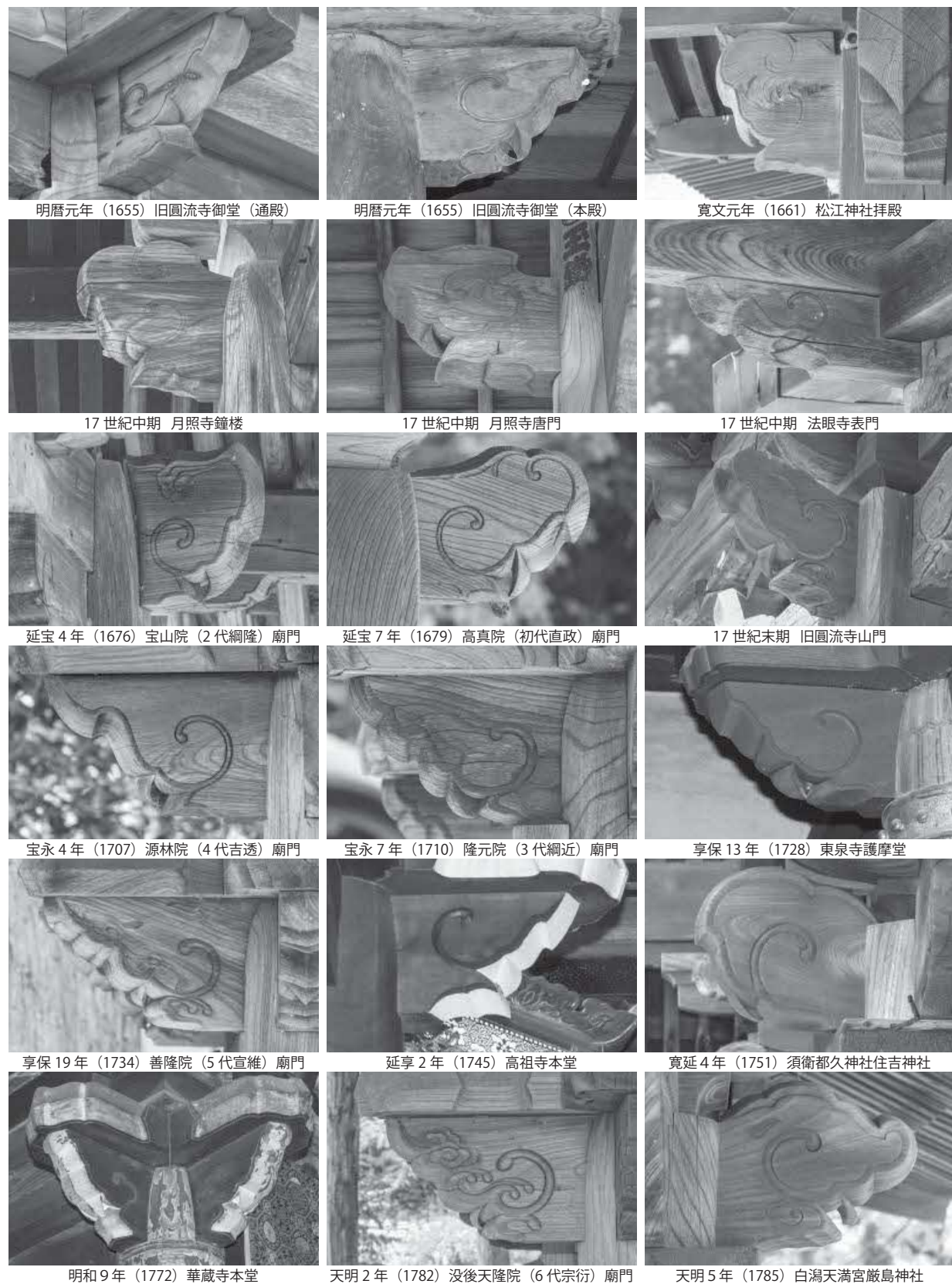


図3 木鼻の嘴状の鬨彫り



図4 妻面の象鼻

参考文献

- 1 奥原福市『島根縣秋鹿村誌』秋鹿村教育会、1922年。
- 2 上野富太郎、野津静一郎編『松江市誌』松江市、1941年。
- 3 『島根県近世社寺建築緊急調査報告書』島根県教育委員会、1980年。
- 4 『神國島根』島根県神社庁、1981年。
- 5 長瀬学栄『風土記時代と律令の東出雲町 東泉寺沿革史』1985年。
- 6 財団法人文化財建造物保存術協会編『重要文化財清水寺本堂保存修理工事報告書』重要文化財清水寺本堂保存修理工事委員会、1992年。
- 7 和田嘉宥『松江藩御作事所と御大工に関する研究』私家版、2001年。
- 8 宍道町史編纂委員会編『宍道町史料目録Ⅱ』宍道町・宍道町教育委員会、2002年。
- 9 『松江市内社寺史料調査目録 一平成22年度～平成25年度一』松江市教育委員会文化財課 (史料編纂室)、2014年。
- 10 西島太郎『松江藩の基礎的研究—城下町の形成と京極氏・松平氏—』近世史研究叢書41、有限会社岩田書院、2015年。
- 11 公益財団法人文化財建造物保存術協会編『重要文化財佐太神社正中殿ほか二棟保存修理工事報告書』宗教法人佐太神社、2016年。
- 12 公益財団法人文化財建造物保存術協会編『国宝重要文化財出雲大社本殿ほか二十二棟保存修理工事報告書 (本文編)』宗教法人出雲大社、2018年。
- 13 『史跡松江藩主松平家墓所保存管理計画書』松江市教育委員会、2000年。
- 14 大名墓研究会編著『松江市ふるさと文庫25 松江藩松平家墓所 一松江・月照寺に守り伝えられる近世大名墓—』松江市歴史まちづくり部史料編纂課、2020年。
- 15 松江市誌編集委員会編『松江市史 通史編4 近世Ⅱ』松江市、2020年。
- 16 奈良文化財研究所編『松江神社建造物調査報告書』松江市、2021年。
- 17 奈良文化財研究所編『松江城関係資料集別編1 松江市内社寺建造物悉皆調査報告書』松江市、2022年。
- 18 奈良文化財研究所『松江市内社寺建築詳細調査報告書』2023年。

※資料はいずれも文献18より転載

表1 松江藩御作事所の作事一覧

社寺名	「御国中御修復寺社」		「御作事所御役人帳」	棟札 (作事奉行・御大工等の記載のあるもの)	
	寺社名	内容		年代および内容	出典
氷川神社	氷川神社	悉皆 但、春日・宇賀御構無之	正徳6(1716) 建立	安永2(1773) 再造、文化元(1804) 再造、天保12(1841) 再造	※1
(城山) 稲荷神社	稲荷社	悉皆 但、どう取屋敷御構無之			
千手院	千手院	悉皆			
普門院	普門院	護摩堂計り	元禄2(1689) 寺町から田町へ移転、享保6(1721) 護摩堂再建		
白瀧八幡宮	白瀧天神	本社、拝殿、鳥居、門、左右之塀、連歌座敷、同南囲之塀、北町境灘迄之竹柵共ニ、右外ハ御構無之	元禄14(1701) 上葺	延宝5(1677) 本殿建立、元禄14(1701) 本殿修造、享保12(1727) 本殿修復、寛延元(1748) 本殿修造、明和2(1765) 本殿修復、寛政9(1797) 本殿修復、文政元(1818) 本殿修復、嘉永5(1852) 本殿修復、天明5(1785) 巖島神社造建	※2
誓願寺	誓願寺	御霊屋、通殿、囲之塀北境共ニ、此外ハ御構無之			
天倫寺	天倫寺	御霊屋、通殿、本堂、同前ノ中門、庫裏、物置、薪屋、腰懸、大門、鐘楼堂、内庭仕切塀、門外馬立迄、此外経蔵、書院、衆寮御構無之	元禄7(1694) 御具屋出来		
愛宕神社	愛宕社	悉皆 但、宝照院ハ御構無之	正徳3(1713) 修復		
月照寺	月照寺	悉皆 并隠居屋悉皆	天和3(1683) 大繕、宝永4(1707) 源林院廟門建立、宝永7(1710) 隆元院廟門建立、正徳3(1713) 鎮守社建立、享保19(1734) 善隆院廟門建立、宝暦12(1762) 本堂上葺、天明2(1782) 天隆院宝塔建立	寛政10(1798) 御霊屋上棟	※2
松崎神社	摩利支天社	悉皆	享保4(1719) 建立		
佐多神社	佐陀社	悉皆 并田中之社共ニ 但、神主宅ハ御構無之	貞享4(1687) 建立、元禄元(1688) 不残出来	貞享4(1687) 本殿建立、文化4(1807) 本殿造営	※3
一畑寺 (一畑薬師)	一畑寺之薬師堂	薬師堂、鎮守社、鐘楼堂、仁王門共ニ、 但、寺ハ御構無之	正徳3(1713) 修復		
鱒淵寺	鱒淵寺	摩多羅神本社 廊下 常行堂 山王社 座王権現社 鐘楼堂共 但、柿屋根、座主権現拝殿 仁王門 阿弥陀堂 坊中ハ御構無之	享保4(1719) 修復		
伊丹堂	伊丹地藏堂	(名前なし)	享保3(1718) 修復		
観音寺	渡橋観音堂	鎮守 本堂 庫裏 廊下 門共ニ	正徳2(1712) 観音堂門共上葺		
塩冶神社	塩冶八幡	御社悉皆 并高貞之宮共ニ、神主奉志津摩 但、神主居所之外側、北東囲之塀路地共ニ、此外ハ御構無之	正徳2(1712) 現在地へ移転		
高勝寺	高勝寺	悉皆	宝永5(1708) 神門修復		
下庄八幡御社	下庄八幡御社	悉皆 但、神主居宅ハ御構無之	元禄15(1702) 修復		
長浜神社	蘭妙見御社	但、神主居所ハ御構無之	元禄12(1699) 修復、長徳5(1715) 長聴出来		
須佐神社	須佐大宮御社	悉皆 但、神主居所ハ御構無之	正徳5(1715) 仮殿出来、享保4(1719) 修復		
菅原天満宮	菅原天神社	悉皆 但、神主居所ハ御構無之		享保13(1728) 本殿修復、天明7(1787) 本殿修復、文化14(1817) 本殿修復、嘉永2(1849) 本殿修復	※4
日吉神社(穴道)	来海山王社	悉皆 但、神主居所ハ御構無之		天保13(1842) 山王社造営	※4

社寺名	「御国中御修復寺社」		「御作事所御役人帳」	棟札 (作事奉行・御大工等の記載のあるもの)	
	寺社名	内容		年代および内容	出典
善光寺	善光寺	悉皆 但、観音堂ハ元文三年ヨリ自分修復ニ成	享保 3 (1718) 修復		
八重垣神社	八重垣御社	悉皆 但、神主居所ハ御構無之	享保 3 (1718) 修復		
六所神社	六所御社	悉皆 但、神主居所ハ御構無之	享保 14 (1729) 建立		
熊野大社	熊野伊勢宮	悉皆 但、神主居所ハ御構無之		元文 5 (1740) 修栄、宝暦 2 (1752) 権殿新造、安政 6 (1859) 素盞鳴社造営、文政 3 (1820) 素盞鳴社造営、天保 9 (1838) 熊野三社上棟他、天保 9 (1838) 熊野三社左社造営中社修復右社造営五社八社修復、天保 15 (1844) 素盞鳴社造営、嘉永 7 (1854) 熊野三社拝殿屋根替、慶応 4 (1868) 素盞鳴社造営	※ 1
阿太加夜神社	芦高神社	悉皆 但、神主居所ハ御構なし			
東泉寺	東泉寺	鎮守社本殿、拝殿	享保 6 (1721) 稻荷拝殿出来、享保 13 (1728) 護摩堂建立	享保 13 (1728) 護摩堂建立、寛延 2 (1749) 稻荷拜殿屋根葺直、不明 稻荷本社再建、明和 2 (1765) 護摩堂再建、天明元 (1781) 護摩堂再建、文政 10 (1827) 護摩堂葺替	※ 2
揖屋神社	揖屋御社	悉皆 但、神主宅御構無之	元禄 9 (1696) 修復		
清水寺	清水寺	悉皆 但、坊中ハ御構無之	正徳 6 (1716) 修復	享保元 (1716) 修営	※ 5
				明和元 (1764) 修営・観音堂上棟、文化元 (1804) 観音堂上棟	※ 5
平濱八幡宮	平濱八幡御社	悉皆 但、神主宅御構無之	元禄 13 (1700) 修復、元文 3 (1738) 修復		
手間天神社 (塩楯島)	手間天神御社	悉皆			
多賀ノ宮御社	多賀ノ宮御社	悉皆 但、神主宅御構無之	元禄 10 (1697) 建立		
圓流寺・松江神社	圓流寺	悉皆	元文 3 (1738) 庫裏再建、宝暦 2 (1752) 修理、宝暦 12 (1762) 本堂建立	貞享元 (1684) 大猷院修営・東照宮修造、正徳 3 (1713) 東照宮修造、延享 2 (1745) 東照宮修造、天明 7 (1787) 東照宮修造、文化 12 (1815) 東照宮修造、天保 13 (1842) 東照宮上葺、天保 14 (1843) 東照宮修造、元治 2 (1865) 東照宮・鳥居修理	※ 6
華蔵寺	枕木山堂舎	悉皆 但、寺ハ御構無之		明暦元 (1655) 薬師堂・観音堂・山王社建立、明暦 3 (1657) 観音堂建立、天明 3 (1783) 薬師堂再建、寛政 12 (1800) 山王社修復、文政 8 (1825) 山王社造営、天保 4 (1833) 薬師堂修営、嘉永 4 (1851) 山王大権現社修造、安政 6 (1859) 三社宮造営、文久 2 (1862) 地藏尊堂造営、慶応 4 (1868) 観音堂修復、慶応 4 (1868) 蔵王権現社修復	※ 2
満願寺	満願寺	観音堂計り			
神魂神社	大庭御社	悉皆 但、神主宅御構無之	宝永 6 (1709) 修復、寛延 3 (1750) 遷宮、宝暦 2 (1753) 末社修復		
真名井神社	伊弉諾神社	悉皆 但、神主居所ハ御構無之	正徳 3 (1713) 修復		
阿羅波比神社	中原八幡宮	悉皆 并脇後之堀計り、其外ハ御構無之	享保 15 (1730) 建立		
推恵神社	推恵神社	(名前のみ)			
津田稲荷社	津田稲荷社	(名前のみ)			
出雲大社				文化年間十九社左右新建	※ 7
靈感寺				天保 15 (1844) 根本堂再建	※ 2

出典 ※ 1 『松江市内寺社史料調査目録』、※ 2 松江市内社寺建築詳細調査、※ 3 『重要文化財佐太神社正中殿ほか二棟保存修理工事報告書』、※ 4 『宍道町史料目録Ⅱ』・宍道町棟札調査、※ 5 『重要文化財清水寺本堂保存修理工事報告書』、※ 6 『松江神社建造物調査報告書』、※ 7 『国宝重要文化財出雲大社本殿ほか二十二棟保存修理工事報告書 (本文編)』

表2 松江藩御作事所が関与した現存遺構

社寺名	建物名称	建築年代	建築年代資料	構造形式	顰彫り	松江藩との関係	御作事所関係者名
松江神社	拝殿	寛文元年（1661）	棟札	桁行五間、梁間三間、入母屋造、向拝一間、軒唐破風付、背面軒下張出付	○	旧松江東照宮拝殿。寛文造営棟札には作事奉行名なし。以後の修造棟札はすべて作事奉行名あり。	不明
	通殿	寛文元年（1661）	棟札	桁行三間、梁間一間、切妻造、妻入、銅板葺	○	旧松江東照宮通殿。拝殿と同時に建立。	不明
旧圓流寺	御堂（本殿）	明暦元年（1655）	棟札	桁行三間、梁間三間、宝形造、棧瓦葺	○	旧圓流寺大猷院御霊屋本殿。明暦造営棟札には作事奉行名なし。以後の修造棟札はすべて作事奉行名あり。	不明
	御堂（通殿）	明暦元年（1655）	棟札	桁行一間、梁間一間、切妻造、棧瓦葺	○	旧圓流寺大猷院御霊屋通殿。本殿と同時に建立。	不明
	唐門	17世紀後期	推定	一間一戸平唐門、銅板葺	○	旧圓流寺大猷院唐門。	不明
	山門	17世紀末期	推定	一間一戸四脚門、棧瓦葺	○	旧圓流寺内の門。	不明
善勝寺	本堂	明暦元年（1655）	棟札	桁行三間、梁間二間、入母屋造、棧瓦葺、向拝一間、軒唐破風付	○	旧圓流寺大猷院御霊屋拝殿。	不明
月照寺	唐門	17世紀中期	推定	一間一戸平唐門、銅板葺	○		不明
	鐘楼	17世紀中期	推定	桁行一間、梁間一間、切妻造、棧瓦葺	○		不明
	御霊屋	寛政10年（1798）	棟札	桁行9.3m、梁間5.0m、入母屋造、前室、桁行3.9m、梁間2.4m、切妻造、妻入、向拝一間、棧瓦葺		棟札に作事奉行・御大工名あり	作事奉行 齋田彦吉衛武・小川市大夫暁保、大工頭 山門兵藏茂村
	高真院（初代直政）廟門	延宝7年（1679）	天井裏墨書	一間一戸薬医門、切妻造、軒唐破風付、銅板葺	○		棟梁田鹿弥兵衛（町大工力）
	宝山院（2代綱隆）廟門	延宝4年（1676）	棟札（近世社寺）	一間一戸薬医門、切妻造、軒唐破風付、銅板葺	○	棟札所在不明。	不明
	隆元院（3代綱近）廟門	宝永7年（1710）	「御作事所御役人帳」	桁行一間、梁間一間、切妻造、軒唐破風付、銅板葺	○	「御作事所御役人帳」に記載。	不明
	源林院（4代吉透）廟門	宝永4年（1707）	「御作事所御役人帳」	一間一戸向唐門、銅板葺	○	「御作事所御役人帳」に記載。	不明
	善隆院（5代宣維）廟門	享保19年（1734）	「御作事所御役人帳」	一間一戸平唐門、銅板葺	○	「御作事所御役人帳」に記載。	不明
	天隆院（6代宗衍）廟門	天明2年（1782）没後	推定	一間一戸平唐門、銅板葺	○	「御作事所御役人帳」に天明2年宝塔建立の記事。	不明
	大円庵（7代治郷）廟門	文政2年（1819）	近世社寺推定	一間一戸向唐門、銅板葺			不明
	月潭院（8代齐恒）廟門	文政6年（1823）	棟札（近世社寺）	一間一戸平唐門、銅板葺		棟札所在不明。	不明
直指庵（9代齐斎）廟門	文久3年（1863）没後	推定	一間一戸向唐門、銅板葺			不明	

社寺名	建物名称	建築年代	建築年代資料	構造形式	顰彫り	松江藩との関係	御作事所関係者名
東泉寺	稲荷大明神本殿	宝永4年(1707)	棟札 (寺伝資料)	桁行一間、梁間一間、切妻造、妻入、棧瓦葺		棟札現存せず。作事奉行名記載あり。	作事奉行 松井弾左衛門・生田重兵衛
	護摩堂	享保13年(1728)	棟札	方三間、宝形造、向拝一間、棧瓦葺、背面軒下張出付	○	『御国中御修復寺社』範囲外。棟札に作事奉行・御大工名あり。	御作事奉行 三浦宇左衛門元叙・竹内有兵衛貴方、御作事方下役人 伊藤喜右衛門、御大工 井川源四郎・内藤野右衛門、棟梁 井川太郎右衛門
平濱八幡宮	本殿	文化15年(1818)	棟札 (近世社寺)	三間社流造、向拝三間、檜皮葺		棟札未見。『御国中御修復寺社』に社名あり。	不明
靈感寺	本堂	天保15年(1844)	棟札	桁行11.0m、梁間9.2m、重層、向拝一間、入母屋造、妻入、棧瓦葺		棟札に作事奉行名あり。『御国中御修復寺社』に寺名なし。	作事奉行 星野小右衛門・市川虎市・桂田又助、棟梁 佐々木祐三郎

御作事所関与の可能性のある建物

社寺名	建物名称	建築年代	建築年代資料	構造形式	顰彫り	松江藩との関係	御作事所関係者名
華蔵寺	鐘楼門	明暦元年(1655)	棟札	一間一戸楼門、切妻造、とち葺、鉄板覆		寺は、明暦3年(1657)に松平直政により再興。明暦造営建築で唯一残存する建築。棟札に御作事所関係名の記述なし。御作事所との関係は明確ではないが、同時に造営された明暦元年観音堂造営棟札には作事奉行・御大工名が記される。顰彫りなし。	なし
	本堂	明和9年(1772)	棟札	桁行13.0m、梁間10.7m、寄棟造、向拝三間、とち葺、鉄板覆	○	『御国中御修復寺社』範囲対象外力。顰彫りは来迎柱上部のみ。前身堂の一部を再利用したものか。	なし
法眼寺	表門	17世紀中期	推定	一間一戸四脚門、切妻造、棧瓦葺	○	元文3年(1738)鰐淵寺より移築と伝える。鰐淵寺は『御国中御修復寺社』。	不明
高祖寺	本堂	延享2年(1745)	『秋鹿村誌』	桁行8.4m、梁間8.4m、入母屋造、向拝一間、棧瓦葺	○	『御国中御修復寺社』対象外。棟札に作事奉行名なし。内陣頭貫に嘴状の顰彫り。	なし
須衛都久神社	住吉神社	寛延4年(1751)	棟札	一間社隅木入春日造、銅板葺	○	『御国中御修復寺社』対象外。願主は商人で、大工は「太左衛門」とあり苗字はない。頭貫に嘴状の顰彫りあり。	なし
白瀉天満宮	巖島神社	天明5年(1785)	棟札	一間社隅木入春日造、銅板葺	○	『御国中御修復寺社』対象社寺だが、末社は範囲外。棟札に御作事所関係名の記述なし。棟札にある大工棟梁大塚文平は、「御作事所御役人帳」によると寛政5年(1793)に御作事所に登用される。社殿は隅木入り春日造であるが、化粧隅木が省略され、隅部は垂木を組んで処理するという大変珍しい手法が用いられている。	大工棟梁大塚文平古美